

EGOTERIC

D•30

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

D00208700A

TEAC®

このたびは、エソテリック製品をお買上げいただきましてありがとうございます。

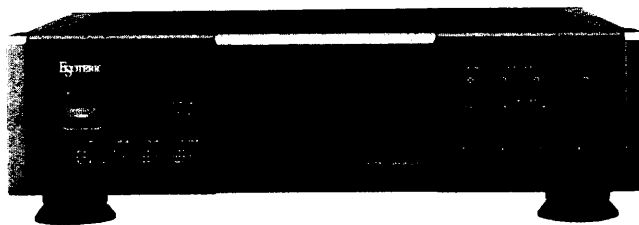
ティアック技術の集大成により完成された「エソテリック」製品は、個々の部品選択から製造工程、出荷にいたるまで数多くの厳しい品質管理を一台一台受け製造する受注生産方式で製造されております。

エソテリックシリーズの最高峰モデルとして生み出されたD-30です。

最良のコンディションでご使用いただけますように、この取扱説明書と別冊の「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用になり末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

特長	5
ご使用前に	
● 設置／使用上のご注意	6
接続	
● CDトランスポートとの接続	7
● ステレオ・アンプとの接続	8
● デジタル出力を持つ機器との接続	9
● 電源の接続	9
各部の名称と説明	
● 本体前面	10～11
● 本体背面	12
● リモート・コントロール・ユニット	13～15
ブロック・ダイアグラム	16
アフターサービスについて	17
仕様	18
寸法図	19



特長

D-30 マルチD/Aコンバータ

本機は、さまざまなデジタル通信形態に対応したユニバーサルD/Aコンバータユニットです。ゲインコントロール、バックアップメモリ、デジタル出力など数多くの機能を併用することにより、パワーアンプ直結を可能にするデジタルプリアンプ、デジタル録音に有用なサンプリングレートコンバータ、有害なジッタを除去できるデジタルジッタアブソーバー、8入力を1出力に切替えるデジタルセレクタなどの体系を重畳しております。

■可聴帯域のジッタを100分の1以上激減するDSRLL II

有害な可聴帯域ジッタを0.5Hzから2次の遮断特性(12dB/oct)で除去するクォーツロック回路です。入力と非同期動作のためサンプリングレート変換器として利用できます。

■非オーディオデータをクロックアイソレートするデジタルPLL

通信デジタルデータを水晶発振器(～30MHz)でサンプリングすることにより、サブコードジッタのオーディオ回路への侵入を防止します。入出力クロック間のジッタ絶縁効果があります。

■最高の性能を発揮する最先端2nd PLL

数理的デジタル位相検波器、デジタルループフィルタを採用することにより、従来から懸念されていた位相検波器の不感帯を無くし、リチウムタンタレートVCOを正確に制御します。ジッタを30Hzから2次の遮断特性(12dB/oct)で除去します。

■外部同期が可能なWORD SYNCモード

内部水晶発振器を基準に外部ソースを追従させる同期信号(Fs)を出力することにより、2nd PLLやDSRLL回路を使用しないでDAC直前の有害ジッタを理論上0にします。

■さらに進んだデジタルフィルタの高域帯域特性切換え

デジタルフィルタ遮断特性を従来のWIDEBに加え、DSRLL動作時の減衰域特性を20dBブロードにすることにより、入力ソースに内包する不要振動や歪成分を緩和します。

■12/24 OS DF & シンメトリカル8 DAC

FIR型DF & サイン波移動平均回路により、12/24倍オーバーサンプリングをしており、後段のアナログフィルタを軽減します。

DACは、ディザ及び信号件にシンメトリカルな20ビット8DAC構成、ディザ減算は、シンメトリカル抵抗加算方式にすることにより、DAC I-Vアンプとバッファアンプのシンプル2段アンプ構成になっております。

■7ボックス銅メッキシャーシ&3点ピンポイント脚

DAC部、DAIR部、アナログ電源部、デジタル電源部、D OUT部、AC入力部、パワートランス部の7ボックス銅メッキシャーシ構造とする事により、内部干渉を防止します。また前方2点、後方1点のメカニカルアースポイントをハイカーボン鋳鉄材で振動分散効果を向上しております。

■その他の特長

- バックアップメモリ
- 42.0～+6.0dBゲインコントロール
- ステレオ/モノラル切換え
- アブソリュートフェーズ切換え
- ディザ3種類切換え
- リモコン対応
- ソフトミュート

■高品位パーツ群

- 2カットコア大型トランス
- 電磁シールド付高周波リレー
- ベリー・ハイスピードCMOS全面採用
- SMB高周波用ケーブル

ご使用の前に

- ご使用の前に、別冊の「安全にお使いいただくために」とこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- この取扱説明書の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、危害や財産への損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると、発生が想定される内容を〔警告〕、〔注意〕に区分して絵表示をしています。絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 注意事項のいずれも安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、警告または注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

■設置／使用上のご注意

設置場所について



次のような場所でご使用になりますと、音質が悪化したり、故障などの原因となりますので設置しないでください。

- 窓際など直射日光の当たる場所。
- 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所、または極端に低い場所。
- 湿度の高い場所。
- 風通しが悪い場所。
- ホコリの多い場所。
- 振動の多い場所や不安定な場所。
- チューナーやテレビのそば。

*雑音や映像の乱れが生じることがあります。

本体のお手入れには



トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

*化学ぞうきんやベンジン、シンナー系の液体で拭かないでください。近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布しないでください。表面を傷める原因となります。

電源について



国内電源AC100V、50-60Hzでお使いください。この電圧以外でのご使用は保証できかねます。電源コードは大切に取り扱いってください。特に、コンセントからはずすときは、必ずプラグを持って抜いてください。

ケースを開けない



トップカバーや底板を開けて内部に手を入れないでください。感電事故の恐れもあり危険です。

落雷に対する注意

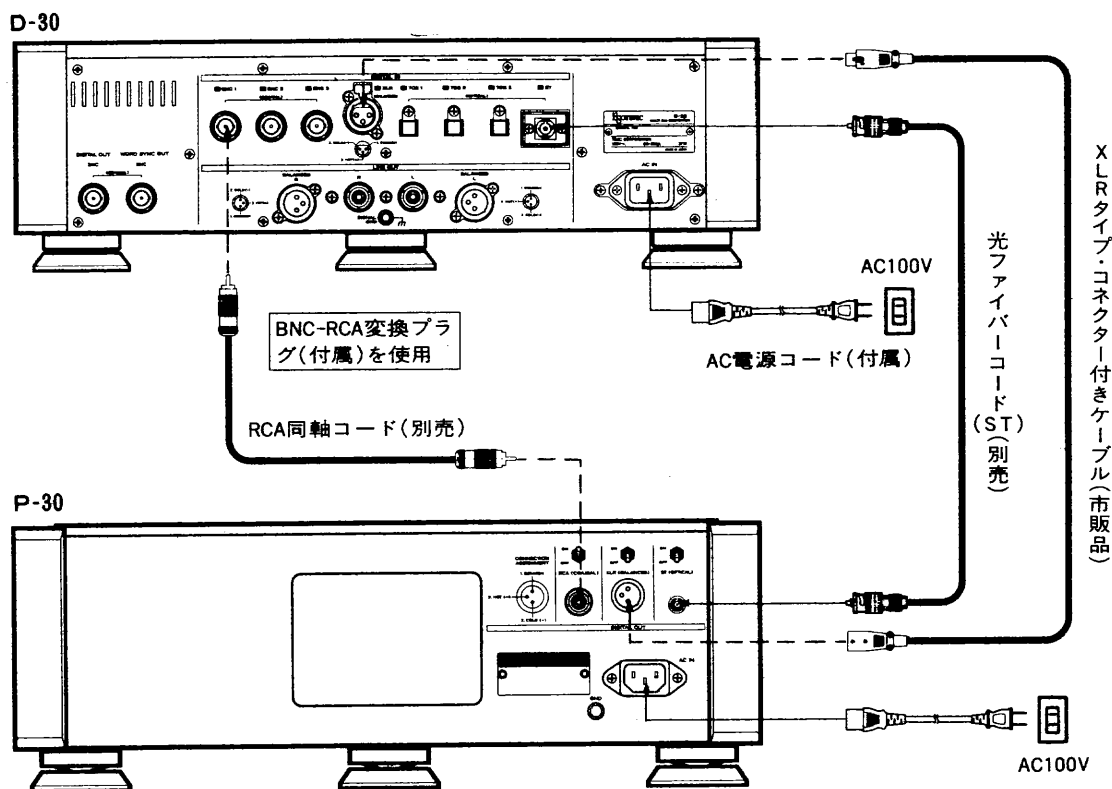


落雷のおそれのあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

接続

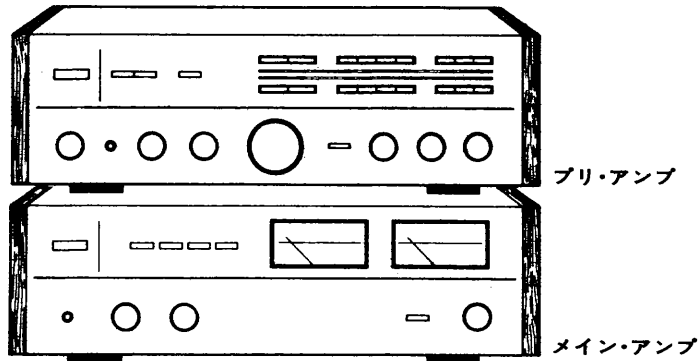
■CDトランスポート(P-30)との接続

- 取扱説明書をよくお読みの上、必ず機器の電源を切ってから接続してください。
 - プラグは、しっかり差し込んでください。
 - コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。
 - 同軸コード(別売)を使用する場合は、マルチD/Aコンバータの〔DIGITAL IN〕BNC(COAXIAL)端子にBNC-RCA変換プラグ(付属)を接続して、P-30〔DIGITAL OUT〕端子のRCA(COAXIAL)に接続します。
 - 本機の〔DIGITAL IN〕XLR(BALANCED)端子は、P-30〔DIGITAL OUT〕XLR(BALANCED)端子に市販のケーブルで接続します。
 - 光ファイバー・コード(別売)を使用する場合は、本機の〔DIGITAL IN〕ST(OPTICAL)端子とP-30〔DIGITAL OUT〕のST(OPTICAL)端子を接続します。
- *米国AT & T社製のST規格光ファイバー・コード(EST-100/1m)を別売しています。接続する際は、ST端子の“キャップ”をはずしてください。また、接続しないときは、“キャップ”を付けておいてください。



■ステレオ・アンプとの接続

接続するステレオ・アンプの取扱説明書をよくお読みの上、必ずステレオ・アンプおよび本機の電源を切ってから接続してください。

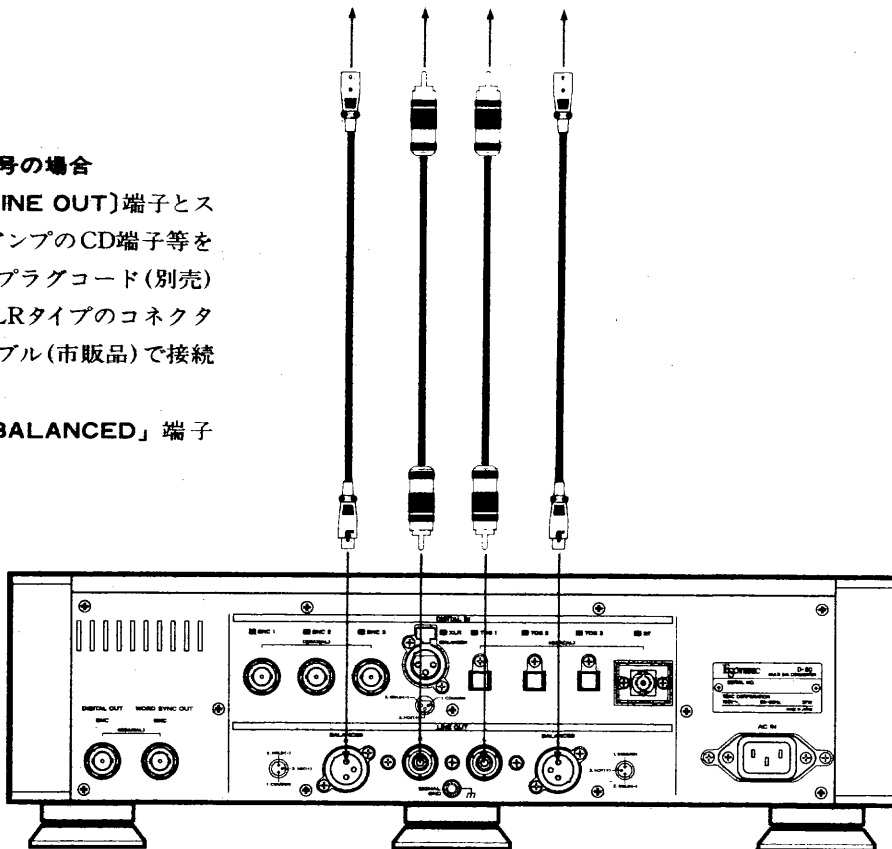


プリ・アンプのCD/AUX端子
またはメイン・アンプの
INPUT端子などへ

アナログ信号の場合

●本機の〔LINE OUT〕端子とステレオ・アンプのCD端子等を同軸ピンプラグコード(別売)またはXLRタイプのコネクタ付きケーブル(市販品)で接続します。

(后者は「BALANCED」端子使用)

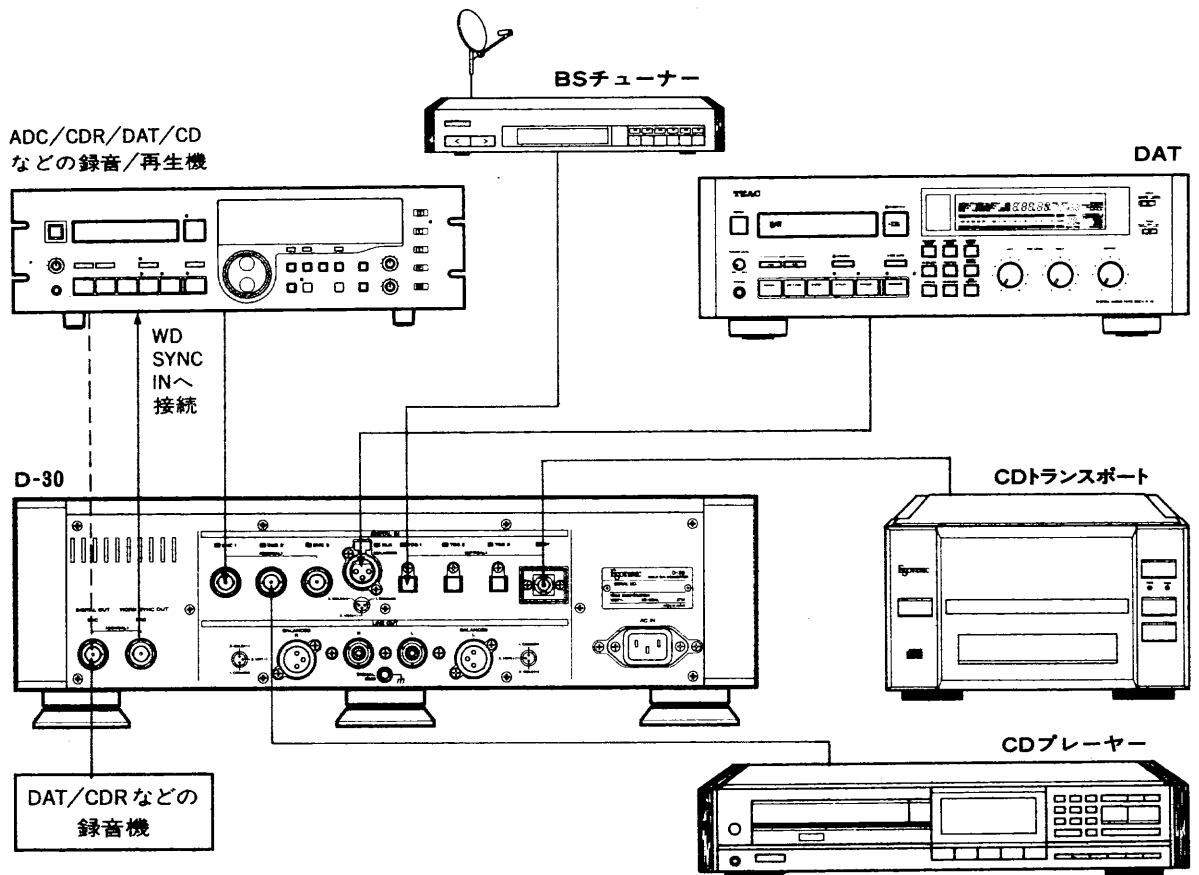


■デジタル出力端子を持つ機器との接続

接続をする機器の取扱説明書をよくお読みのうえ
接続してください。

●本機は〔DIGITAL IN〕端子としてBNC(COAXIAL)、
XLR(BALANCED)およびTOS・ST(OPTICAL)
を備えていますので、8台までの機器を接続で
きます。

*〔BNC〕端子にBNC-RCA変換プラグ(付属)を接
続するとRCA同軸コードで接続できます。

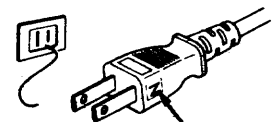


■電源の接続



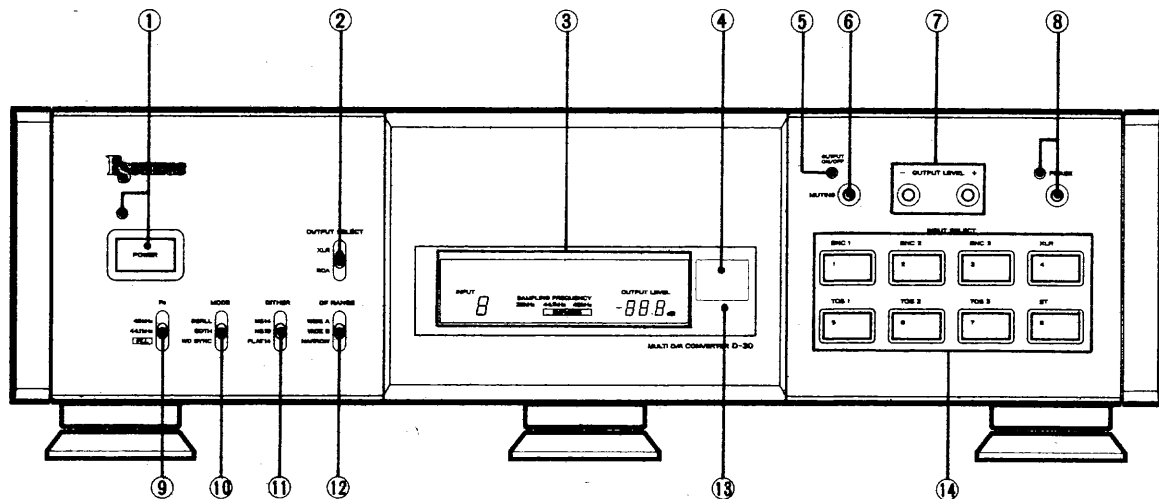
- 必ずAC(交流)100Vの電源コンセントに接続してください。
- 本機の電源は極性管理がされています。
極性管理されている電源コンセントでは、溝の短い方がホット側、長い方がアース側です。
- 電源プラグの側面に“N”印のあるほうがアース側になっていますので、極性を合わせて接続してください。

*極性を合わせていない場合でも、音質にほとんど影響はありませんが、微妙に音質が変わることがあります。極性の管理されていない電源コンセントをお使いになる場合は、プラグの差し込み方を逆にして音を確認してください。



各部の名称と説明

■本体前面



①電源スイッチ[POWER]／パワー表示兼オペレ ティングLED

押してON(≡)にすると電源が入ります。LEDが次のように点灯して、動作状態を表示します。

〔DSRLLモードまたはBOTHモードの場合〕：「赤色」が点灯します。

〔WORD SYNCモードの場合〕：「緑色」が点灯します。

〔PLLモードの場合〕：「橙色」が点灯します。

●PLLモード動作中に入力信号が断たれたときや、デジタル入力信号をサーチ中のときは、「赤色」が点灯します。

●WD SYNCモード動作中に入力信号が断たれたときは、WD SYNCモードを継続しているため、「緑色」を点灯し続けます。

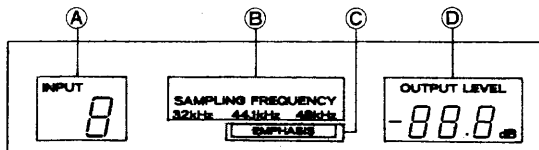
●パワー表示／オペレティングLEDは、電源ONの間、常時(DISPLAY OFFにしても)点灯しています。

*電源スイッチON直後、バックアップデータが保持していると、各LEDは最後の動作状態を点灯して表示します。

②ラインアウト切換えスイッチ 〔OUTPUT SELECT〕

アナログ出力をXLR(BALANCED)またはRCAに切換えます。

③表示窓



④インプット〔INPUT〕

〔INPUT〕スイッチにより選択されるデジタル入力端子の番号(1～8)を表示します。

⑤サンプリング周波数〔SAMPLING FREQUENCY〕

Fsスイッチの位置で次のように表示します。

48kHzの場合：48kHzが点灯。

44.1kHzの場合：44.1kHzが点灯。

PLLモードの場合：デジタル入力のサンプリング周波数を読みとり点灯。

●32kHz：DBS(Direct Broadcast Satelliteの略)

●44.1kHz：CD、録音済みDATソフトテープ

●48kHz：DBS、DAT(録音再生)

⑥エンファシス〔EMPHASIS〕

エンファシス信号が記録されているディスクの再生時に点灯表示します。

⑦出力レベル表示

出力レベルをデジタル表示します。

*サーチ中や電源スイッチON直後は、バックアップデータにより、最後のデータを表示します。

*バックアップデータの保持期間は1週間です。

*バックアップデータが消失しているときは、電源ON直後、1回だけNEXTサーチをします。出力レベルは-30dBを表示します。

④リモコン受光窓

⑤アナログ/デジタル出力表示LED
[OUTPUT ON/OFF]

リモコンの [ANALOG OUT] OFF / ON キーと [DIGITAL OUT] OFF / ON キーの操作状態で次のようにLEDが点灯します。

アナログ出力ON/デジタル出力OFF：消灯。
アナログ出力ON/デジタル出力ON：緑色。
アナログ出力OFF/デジタル出力OFF：赤色。
アナログ出力OFF/デジタル出力ON：橙色。

⑥ミュート・キー[MUTING]

キーを押すと、アナログ出力およびデジタル出力をミュートし、表示窓の[OUTPUT LEVEL]が (. dB) を表示します。もう1回キーを押すと解除します。

⑦出力レベル・キー[-OUTPUT LEVEL+]

アナログ出力およびデジタル出力のレベルを調節します。可変範囲：-42.0~+6.0dB
キーを押し続けると、連続的にアップまたはダウンします。

⑧フェーズ・キー[PHASE] / フェーズ表示兼
ステレオ/モノラル表示LED

1回キーを押すと、[LINE OUT]信号の位相が反転します。もう1回キーを押すと正相の出力信号になります。

リモコンの[MONO]キーと[PHASE]キーの操作状態で次のようにLEDが点灯します。

正相/ステレオ：消灯。
正相/モノラル：緑色。
逆相/ステレオ：赤色。
逆相/モノラル：橙色。

⑨Fsスイッチ(Fs)

DSRLL起動時の動作周波数(48kHzまたは44.1kHz)を選択します。

スイッチを[PLL]にすると、2nd PLLモードになり、32kHz/44.1kHz/48kHzのデジタル入力に準じた動作をします。[PLL]モード時は、MODEスイッチが無効になります。([PLL]優先)

⑩モード・スイッチ(MODE)

DSRLLモード：DSRLL IIによりジッタを除去します。

BOTHモード：DSRLL II+ワード同期信号を出力します。

WD SYNCモード：外部機器と同期をとるためのワード同期信号を出力します。

⑪ディザ・スイッチ(DITHER)

ディザを切換えることができます。

全モード有効で、入力ソースに応じて選択します。

NS14：ZDサーキットによる14bitスケール・ノイズシェーピングディザ。

NS16：ZDサーキットによる16bitスケール・ノイズシェーピングディザ。

FLAT：ZDサーキットによる14bitスケール・フラットディザ。

⑫高域帯域特性切換えスイッチ(DF RANGE)

デジタルフィルタの高域帯域特性を切換えます。

WIDE A：Fs/2遮断特性+Fs/2以上の減衰特性を20dB緩和します。

WIDE B：Fs/2以上をゆるやかに遮断するフィルタ特性。

NARROW：Fs/2通過帯域以上を急峻に減衰します。

*⑨~⑫のスイッチは、それぞれ切換えた瞬間に、一時的にアナログ出力およびデジタル出力をミュートします。約4秒以内で自動的に解除します。

⑬「A」モード/「B」モード表示LED

リモコンの「A」キーと「B」キーの操作で次のようにLEDが点灯します。

「A」OFF/「B」OFF：消灯。

「A」ON/「B」OFF：緑色。

「A」OFF/「B」ON：赤色。

「A」ON/「B」ON：橙色。

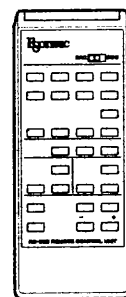
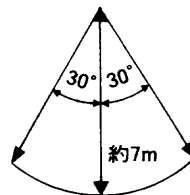
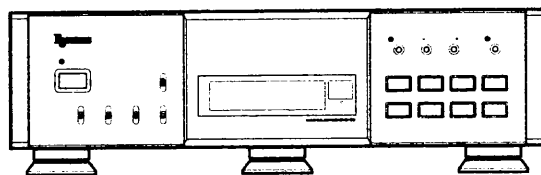
⑭インプット切換えキー(INPUT SELECT)

押したキーと同番号の[DIGITAL IN]端子の番号をダイレクトに選択します。接続機器の有無にかかわらず同番号の入力端子に切り換わり、表示窓に番号を表示します。

リモート・コントロール・ユニット(リモコン)について

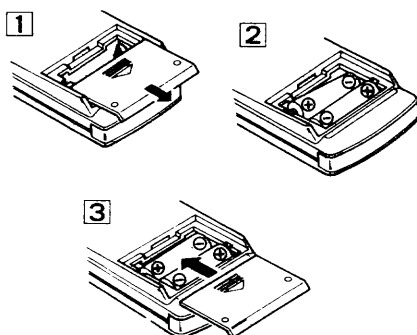
付属のリモコンで、電源をON/OFFすることはできません。

障害物があったり、操作時の角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。



■電池について

リモコンへの装着



- ① 裏側のふたを開ける。
- ② ⊕、⊖の向きに注意して単4電池をはめ込む。
- ③ ふたを閉める。

電池の交換時期は……

操作範囲が狭くなったり、リモコンの操作キーを押しても本機が動かない場合は、電池が消耗しています。新しい電池に2本とも交換してください。

電池についてのご注意



乾電池を誤って使用すると、液漏れや破裂などの危険があります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

1. 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースの指示どおりに正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 乾電池は絶対に充電しないでください。

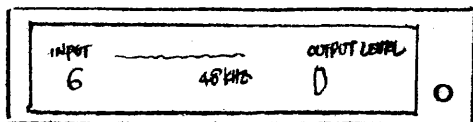
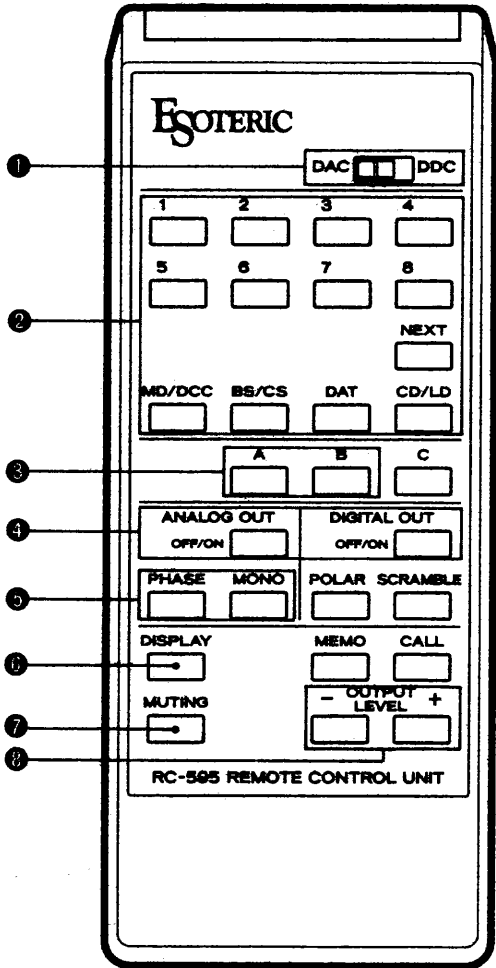
■使用上のご注意



- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しない時は、電池の液漏れを防ぐために電池を取出してください。もし液漏れを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭取ってから新しい電池を入れてください。
- 赤外線によりコントロールする他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。

■RC-595 リモート・コントロール・ユニット(リモコン)

リモコンで電源のON/OFFをすることはできません。



①「DAC/DDC」キー

本機では“DAC”を選択してご使用ください。“DDC”を選択しても作動しません。

②インプット切換えキー

●「1～8」：押したキーと同番号の〔DIGITAL IN〕端子の番号をダイレクトに選択します。

接続機器の有無にかかわらず、同番号の入力端子に切り換わり、表示窓に番号を表示します。

●「NEXT」：キーを押すと、現在選択されているINPUT番号から順番にサーチして、次に接続されているINPUT番号を選択し、番号を表示します。他のすべての入力端子に接続機器がない場合は、一巡してサーチを終了します。サーチ実行中は、「1～8」と「カテゴリー」キーのみ受け付けます。

●「MD/DCC」、「BS/CS」、「DAT」、「CD/LD」カテゴリー切換えキー：押したキーと同名称の機器が自動的に選択されます。押したキーと同名の機器が接続されていない場合は、一巡してサーチを終了します。サーチ実行中は、「1～8」と「カテゴリー」キーの再度押しのみ受け付けます。

*「NEXT」キーと「カテゴリー」キーは、〔DSRLL〕モードで動作実行します。

③「A」モード/「B」モード・キー

「A」モード：サイン波移動平均回路のみ動作させるモード。このモードでは、アナログ出力のディエンファシスが動きません。

「B」モード：ディザ(ZD回路)をOFFにするモード。キーを押すと、表示窓の中のLEDが次のように点灯します。

「A」OFF/「B」OFF：消灯。

「A」ON/「B」OFF：緑色。

「A」OFF/「B」ON：赤色。

「A」ON/「B」ON：橙色。

④「ANALOG OUT」/「DIGITAL OUT」キー

それぞれの出力をOFF/ONします。キーの操作状態で、次のようにLEDが点灯します。

アナログ出力ON/デジタル出力OFF：消灯。

アナログ出力ON/デジタル出力ON：緑色。

アナログ出力OFF/デジタル出力OFF：赤色。

アナログ出力OFF/デジタル出力ON：橙色。

⑤「PHASE」/「MONO」キー

PHASE：キーを押すと〔LINE OUT〕信号の位相を逆相にします。もう1回押すと、正相に戻ります。

MONO：キーを押すと〔LINE OUT〕の信号がモノラル出力となります。もう1回押すと、ステレオ出力に戻ります。

「PHASE」キーと「MONO」キーの操作状態で、次のようにLEDが点灯します。

正相/ステレオ：消灯。

正相/モノラル：緑色。

逆相/ステレオ：赤色。

逆相/モノラル：橙色。

⑥ディスプレイ・キー「DISPLAY」

キーを押すと、パワー表示LEDを除くすべての表示が消灯します。もう1回押すと、復帰します。消灯中に他のキーを操作した場合、押したキーの動作になります。

⑦ミュート・キー「MUTING」

キーを押すと、アナログ出力およびデジタル出力をミュートし、表示窓の〔OUTPUT LEVEL〕が(. dB)を表示します。もう1回キーを押すと解除します。

⑧出力レベル・キー「-OUTPUT LEVEL+」

アナログ出力、およびデジタル出力のレベルを-42.0~+6.0dBの範囲で調節できます。キーを押し続けると連続的にアップまたはダウンします。

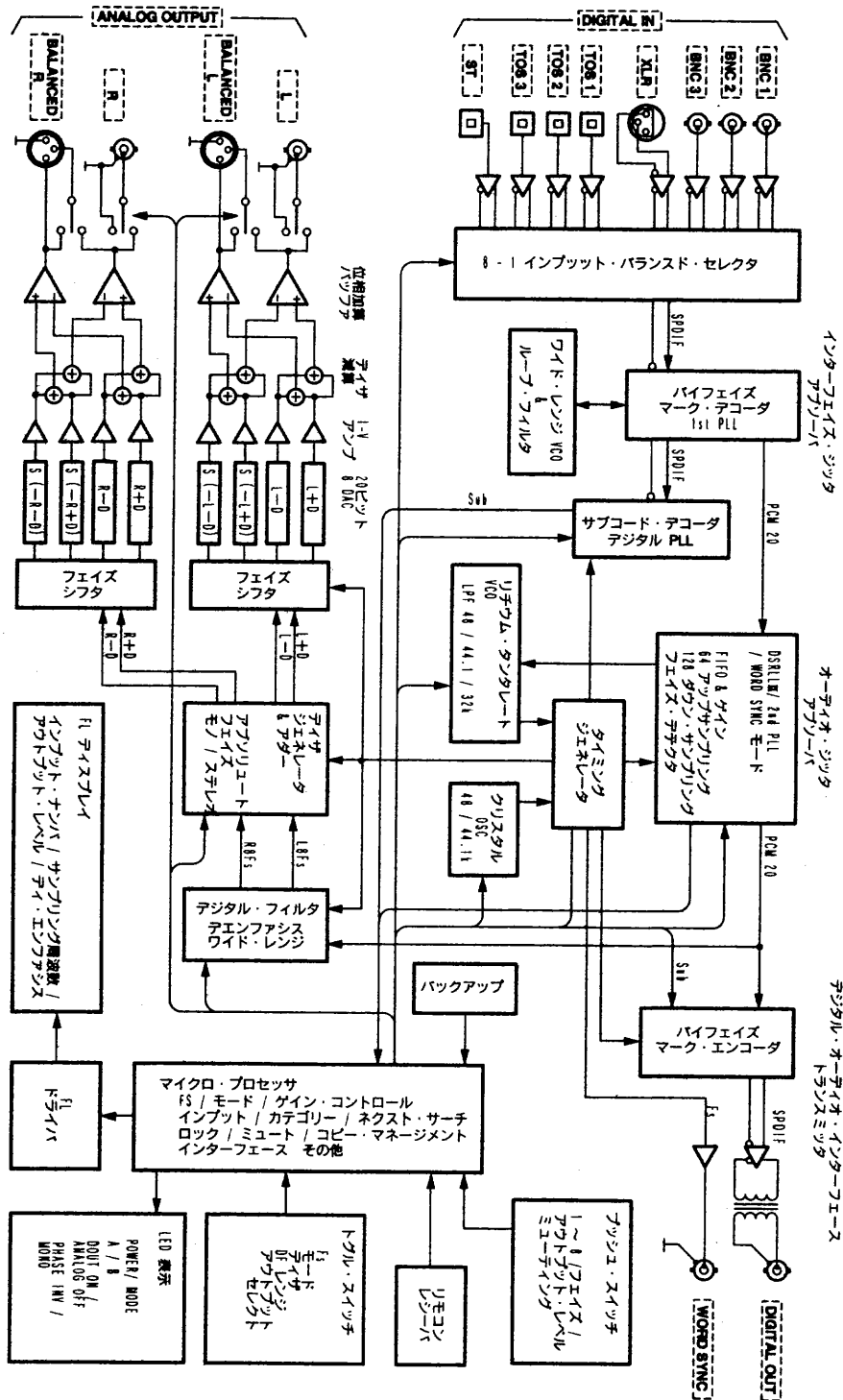
ご注意

●説明がない次のリモコン・キーは、本機では機能しません。

「C」キー、「POLAR」キー、「SCRAMBLE」キー、「MEMO」キー、「CALL」キー。

●「MD/DCC」、「BS/CS」、「DAT」、「CD/LD」の 카테고리・キーと「NEXT」キーは、〔DSRL〕モードでロックするデジタル入力をサーチします。「MODE」スイッチをDSRLに切換えてご使用ください。

■D-30 ブロック図



アフター・サービスについて

1. この製品には“御愛用者カード”が添付されております。カードは、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、必要事項を記入の上、なるべく早くご返送下さいますようお願い致します。
2. 保証期間はご購入日より1年です。保証期間中は、保証書の記載内容により、当社サービス機関が修理いたします。
その他詳細につきましては保証書をご参照ください。
3. 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、ご購入の販売店、もよりの当社営業所またはサービス・センターにご相談ください。
保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
なお、営業所、サービス・センターの所在地および電話番号は、裏表紙をご覧ください。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

■サービスのご依頼について

万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認し、ご購入のお店または裏表紙の住所欄に記載の各営業所などにご連絡ください。

1. 型名、型番
2. 故障の内容
3. お買い上げ年月日「○年○月○日」
4. お名前、住所、電話番号

■お客様のご相談について

製品に関する技術的なお問合せは、AV技術相談室へお寄せください。

〒180 東京都武蔵野市中町3-7-3

AV技術相談室 ☎(0422)36-2210

仕様

<オーディオ>

チャンネル数	L/R 2チャンネル
ゲイン制御	-42~+6dB ±0.3dB
通過帯域	DC~0.45351 Fs IN
リップル特性	デジタル出力 ±0.001dB以内 アナログ出力 ±0.1dB以内

受信範囲

PLLモード	: 48kHz ±2000PPM以内
	: 44kHz ±2000PPM以内
	: 32kHz ±2000PPM以内
DSRLLモード	: 18~62kHz
BOTHモード	: 44.1kHz/48kHz
WD SYNCモード	: 44.1kHz/48kHz
動作周波数	768×Fs IN
Fs 48kHz	: 36,864MHz ±50PPM以内
Fs 44.1kHz	: 33,8688MHz ±50PPM以内

入力レベル

No.1~3	BNC 同軸	: 0.5Vp-p ±0.3V/75Ω
No.4	XLRバランスD	: 3~10Vp/110Ω
No.5~7	TOS光	: -24~-14.5dBm
No.8	ST光	: -30~-10dBm

出力レベル

デジタル入力 SPDIF	: 0.5Vp-p±0.1V/75Ω
WD SYNC	: 3Vp-p±0.5V/75Ω
アナログ出力 RCA	: 2.0Vrms±0.1V/47kΩ
XLR	: 3.2Vrms±0.2V/600Ω

入力サーチ時間 4秒以内/1入力当り

有効ビット数 20ビット

THD+NOISE

デジタル出力: 0.0003%以内
アナログ出力: 0.0020%以内

S/N比

アナログ出力 115dB以内

セパレーション

アナログ出力 113dB以内

ダイナミックレンジ

デジタル出力 113dB以内

アナログ出力 111dB以内

DCオフセット

アナログ出力 ±3mV

バックアップメモリ 1週間標準

入力番号、出力レベル、フェイズ
切換え、モノラル切換え、アナロ
グ ON/OFF、デジタル ON/OFF、
A、Bキーを記憶。

<一般>

電源 100V AC 50-60Hz

消費電力 27W

外形寸法(W×H×D) 465×140×352mm

(ピンポイント脚含む)

質量 15Kg

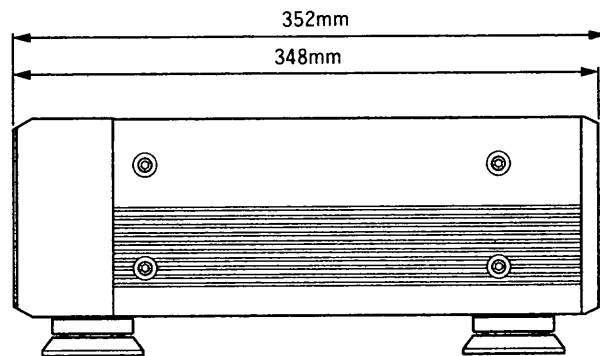
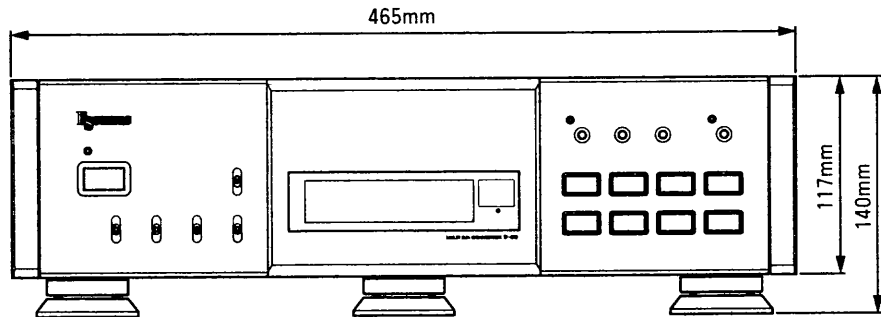
<付属品>

- AC電源コード
- リモコン(RC-595)
- 乾電池(単4 UM-4)×2
- 取扱説明書(バインダー含む)
- 御愛用者カード
- BNC-RCA変換プラグ×4
- 脚×3
- ピンポイント脚×3

*仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

*製品の改善により、取扱説明書の写真などが一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

寸法図

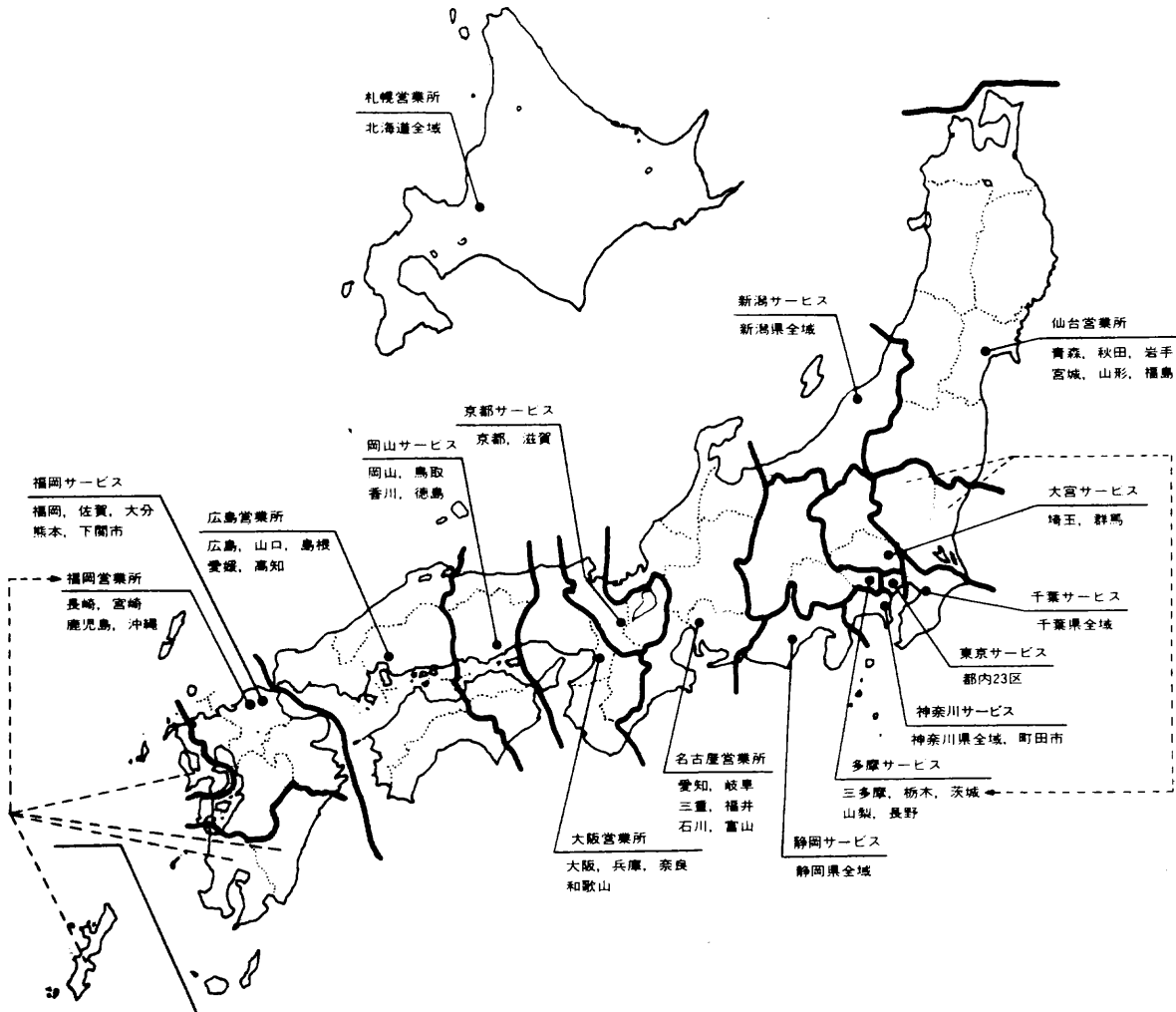


音のエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜間は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

TEAC・サービス・エリア



ティアック株式会社

オーディオ部 ☎ (0422)52-5073

〒180 東京都武蔵野市中町3-7-3

技術的なお問合わせ

AV/技術相談室 ☎ (0422)36-2210

〒180 東京都武蔵野市中町3-7-3

サービスに関するお問合わせは、最寄りの営業所へご連絡ください。営業所にはサービス・センターが併設されています。

札幌営業所 ☎ (011)521-4101(代)	〒064 札幌市中央区南7条西2-2	くぼたビル
仙台営業所 ☎ (022)227-1501(代)	〒980 仙台市青葉区1番町2-5-5	中央ビル
新潟サービス ☎ (025)245-0103	〒950 新潟県新潟市本馬越1-4-11	黒井ハイツ
大宮サービス ☎ (048)642-4551	〒331 大宮市三橋2-	846
多摩サービス ☎ (0422)52-5102	〒180 東京都武蔵野市中町3-7-3	
東京サービス ☎ (03)3592-1827	〒100 東京都千代田区永田町2-10-7	星ガ岡会館
千葉サービス ☎ (043)255-1281	〒260 千葉市中央区榊森1-21-13	清水ビル
神奈川サービス ☎ (0427)46-6850	〒228 相模原市上鶴間3553-	1 グリーンシティビル
静岡サービス ☎ (054)238-2431	〒422 静岡市高松1-12-	1 寿道ハイツ105号
名古屋営業所 ☎ (052)702-3100(代)	〒465 名古屋市名東区上社5-	406
京都サービス ☎ (075)871-8730	〒616 京都市右京区常盤塚町19	西垣ビル
大阪営業所 ☎ (06)384-5201(代)	〒564 吹田市垂水町3-34-	10
岡山サービス ☎ (0862)25-8601	〒700 岡山市新保1142-	6
広島営業所 ☎ (082)294-4751(代)	〒730 広島市中区西川口町13-	19
福岡営業所 ☎ (092)431-5781(代)	〒812 福岡市博多区東光2-2-	24
福岡サービス ☎ (092)936-5672	〒814-02 福岡県粕屋郡志免町志免1041	

営業所またはサービス・センターの電話番号や住所などは、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。